

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-07 □支援部門		道路橋りょう管理運営事業						
主管課	道路課	関連課							
分野名	道路整備								
目標 (目標値)	道路・橋りょうの良好な維持管理								
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
事業の対象者数									
運営資源状況	決算値(千円)	39,748	39,550	39,803					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	39,748	39,550	39,803					
	人員配置数	1.5	1.0	1.3					
	人件費(千円)	13,387	8,689	11,976					
	協働のパートナー								
事務事業運営経費	総事業費(千円)	53,135	48,239	5,179					
	市民1人当りの経費(円)	300	272	293					
	対象者1人当りの経費(円)								
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒								
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
道路橋りょう管理運営事業の達成率	△	目標値							
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値							

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
道路橋りょう管理運営事業	39,748千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E		
	事業の概要	土木積算システムに係る保守及び機器等管理業務を行う。			
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				
		①効率性 ②妥当性 ③有効性 ④公平性	⇒ □A □B □C □D □E		
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	現行の土木積算システムは、運用課(7部16課)の全てを統括し、管理運営事業を担っているため、事務が繁忙になっている。
課題解決のための取組	運用課(7部16課)の協力体制の強化や事務の改善を行うことにより、事務の緩和が図られた。
未解決の課題	現行システムが平成25年8月に期間満了となるため、今後活用強化のためのソフト選定にかかる調整も必要になることから、統括・管理運営事務に過度の負担となることが予想される。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			平成25年8月に期間満了になる現行土木積算システムについて、システムの見直しを検討する。	↓ B	課長等名 道路課担当課長 吉野 正弘

## (2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
道路橋りょう管理 運営事業	主な個別事業	327 土木積算総合システム保守委託料	9,934	9,934	■適切 □見直し余地あり
		327 工事資材単価調査委託料	285	210	■適切 □見直し余地あり
		327 土木積算総合システム機器賃借料	28,420	28,420	■適切 □見直し余地あり
		327 電子複写機賃借料	688	556	■適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり
	主な個別事業				□適切 □見直し余地あり